

氏名	坂根 弘 祐
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 4306 号
学位授与の日付	平成21年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Association of New Arterial Stiffness Parameter, the Cardio-Ankle Vascular Index, with Left Ventricular Diastolic Function (新しい動脈スティフネスのパラメータであるCAVI (Cardio-Ankle Vascular Index)と左室拡張期機能の 関連)
論文審査委員	教授 成瀬 恵治 教授 佐野 俊二 准教授 草野 研吾

学位論文内容の要旨

目的：動脈スティフネスの増加は心血管イベントとの関連することが報告されている。近年、新しい動脈スティフネスのマーカーとして、血圧の影響が少ない CAVI (cardio-ankle vascular index) が開発された。今回、CAVI と左室拡張期機能障害の関係を検討した。

方法：合計 119 人の患者に対し、CAVI、心臓超音波検査を行った。収縮期能低下の患者は除外した。心臓超音波検査の左室流入血流波形にて拡張機能を評価した。

結果：左室拡張期機能障害を認めた群は、認めなかった群と比較して CAVI は有意に高値であった(9.0±1.1 対 8.5±1.1, p=0.009)。また患者を CAVI で四分位に分類したとき、多重ロジスティック回帰分析では CAVI の最高位の群が、左室拡張期機能障害の存在に対するオッズ比が有意に高いことが示された。

結論：左室収縮機能が保たれた患者の中で、CAVI が左室拡張期機能障害と独立して関係していることが示された。

論文審査結果の要旨

動脈スティフネスの増加は心血管イベントと関連することが報告されている。近年、新しい動脈スティフネスのマーカーとして、血圧の影響が少ない CAVI (cardio-ankle vascular index) が開発されたので本研究では CAVI と左室拡張期機能障害の関係を検討した。119 人の患者に対し、CAVI、心臓超音波検査を行った。収縮期能低下の患者は除外した。心臓超音波検査の左室流入血流波形にて拡張機能を評価した。左室拡張期機能障害を認めた群は、認めなかった群と比較して CAVI は有意に高値であった(9.0±1.1 対 8.5±1.1, p=0.009)。また患者を CAVI で四分位に分類したとき、多重ロジスティック回帰分析では CAVI の最高位の群が、左室拡張期機能障害の存在に対するオッズ比が有意に高いことが示された。左室収縮機能が保たれた患者の中で、CAVI が左室拡張期機能障害と独立して関係していることを示した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。